

魚沼市立小中学校再編方針（案）

（令和8年3月）

1. 魚沼市の現状

全国的に少子化が進むことが予測されている中、魚沼市においても、児童生徒数の減少が続き、小学校では1学年1学級という学校が多くなっており、中学校でも全学年でクラス替えができない学校もあります。

このような状況の中、令和6年10月に「魚沼市小中学校の教育環境の在り方検討委員会」を設置し、学校教育の質を維持し、子どもたちにとって望ましい教育環境とはどのようなものかを1年間にわたり検討した結果を令和7年10月に「魚沼市小中学校の教育環境の在り方に関する答申書」として受け取りました。

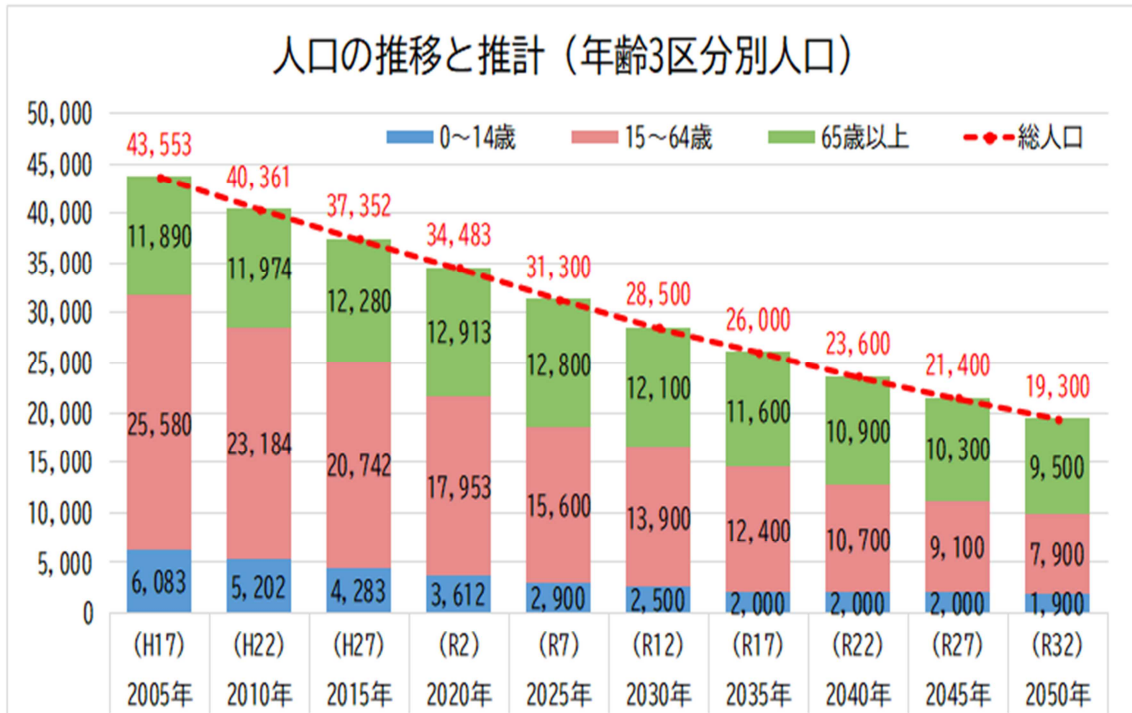
答申の内容

- ・小学校 市内で4校程度に再編
→1学年2学級以上を目安。令和17（2035）年度を目途
- ・中学校 市内で1校
→1学年3学級以上を目安。令和22（2040）年度を目途

(1) 人口と児童生徒数の推移

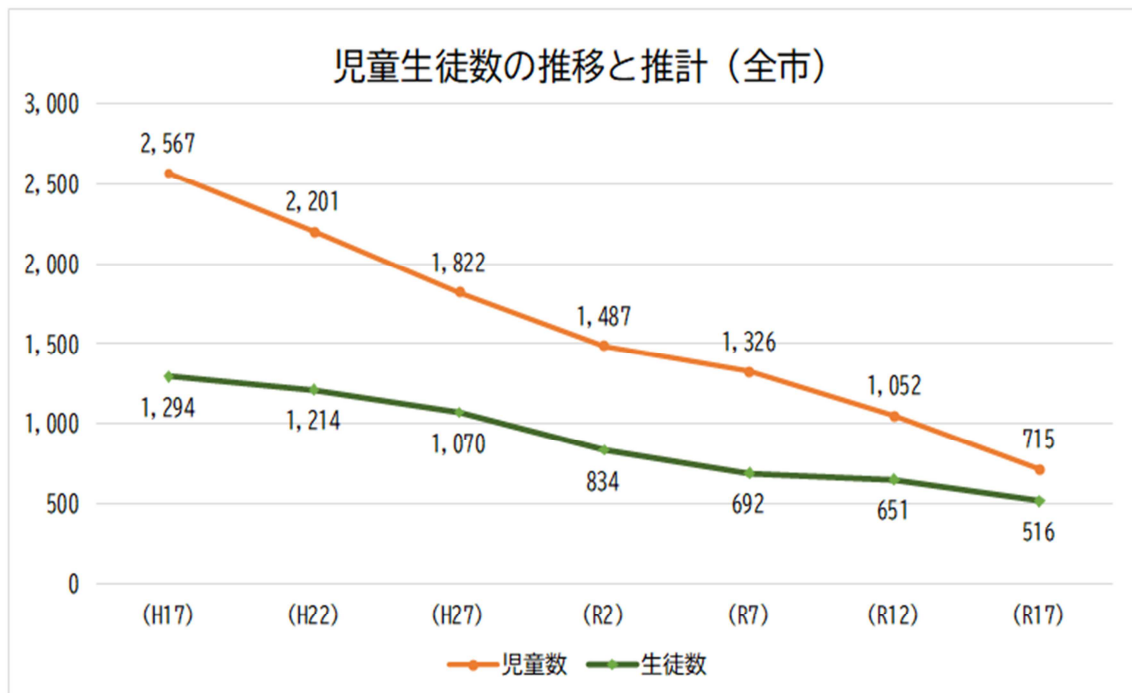
- ・市の人口は、令和2(2020)年では、34,483人(R2国勢調査)となり、平成17(2005)年と比較して約9,000人が減少しました。
- ・児童生徒数は、平成17(2005)年度で、小学生2,567人、中学生1,294人でしたが、令和7(2025)年度には、小学生1,326人、中学生692人にまで減少しました。
- ・今後も少子化は進み、令和17(2035)年度には、小学生715人、中学生516人にまで減少すると見込んでいます。

■魚沼市の人口推移と推計



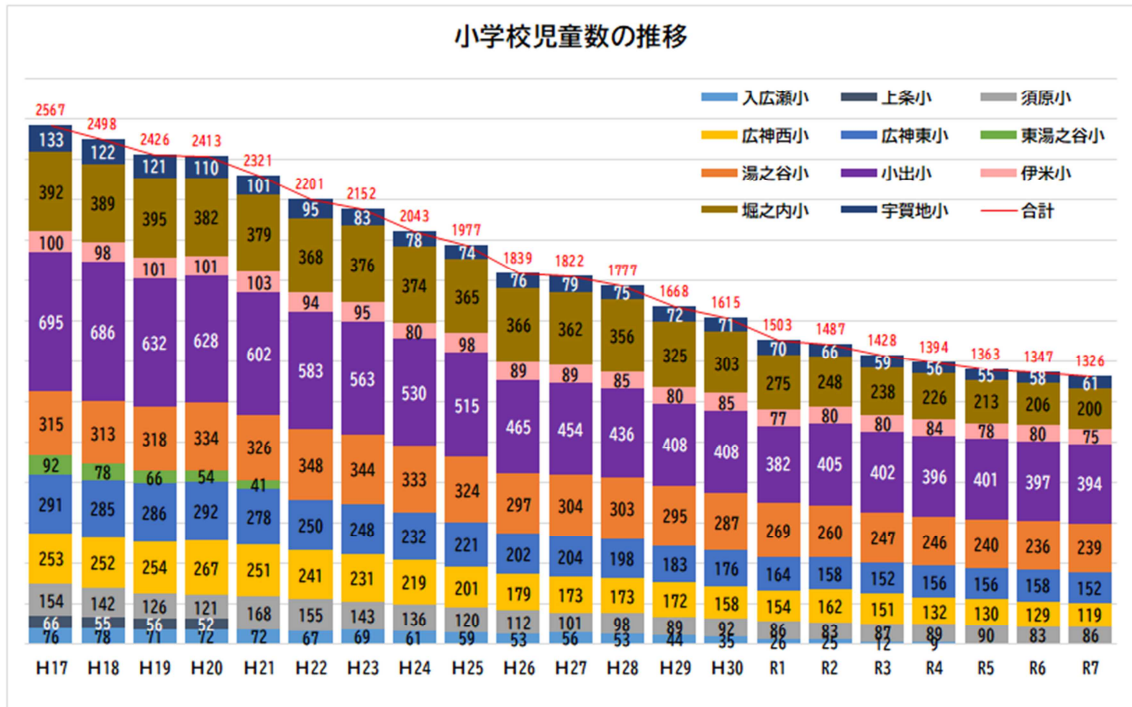
※2020年(R2)までは国勢調査による実績値。2025年(R7)以降は魚沼市人口フレームに基づく数値

■児童・生徒数の推移と推計（市全体）



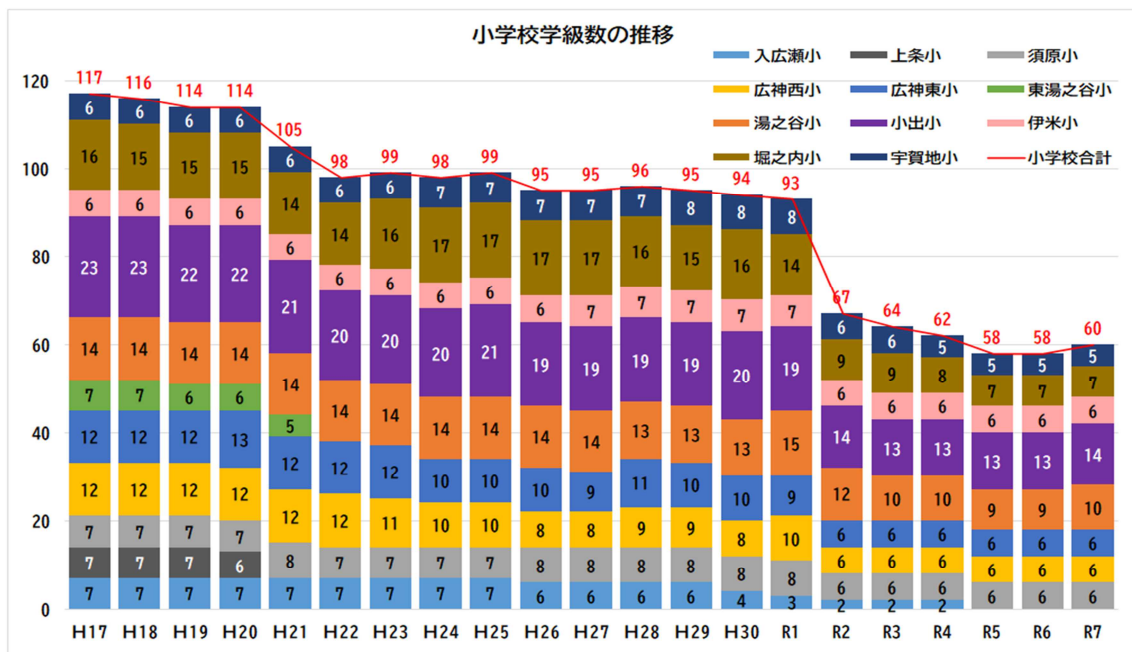
※2030(R12)、2035(R17)は、教育委員会による推計値

■小学校児童数の推移（学校別）



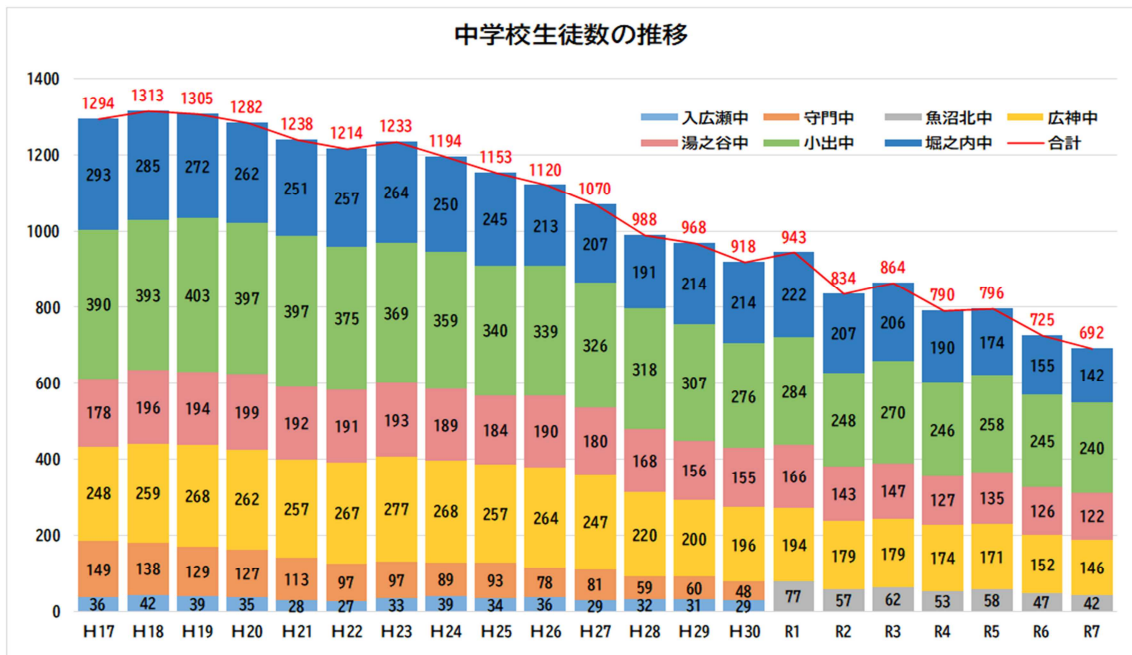
資料：魚沼市歳入歳出決算資料（財政事情と主要な施策の成果）

■小学校学級数の推移（学校別）



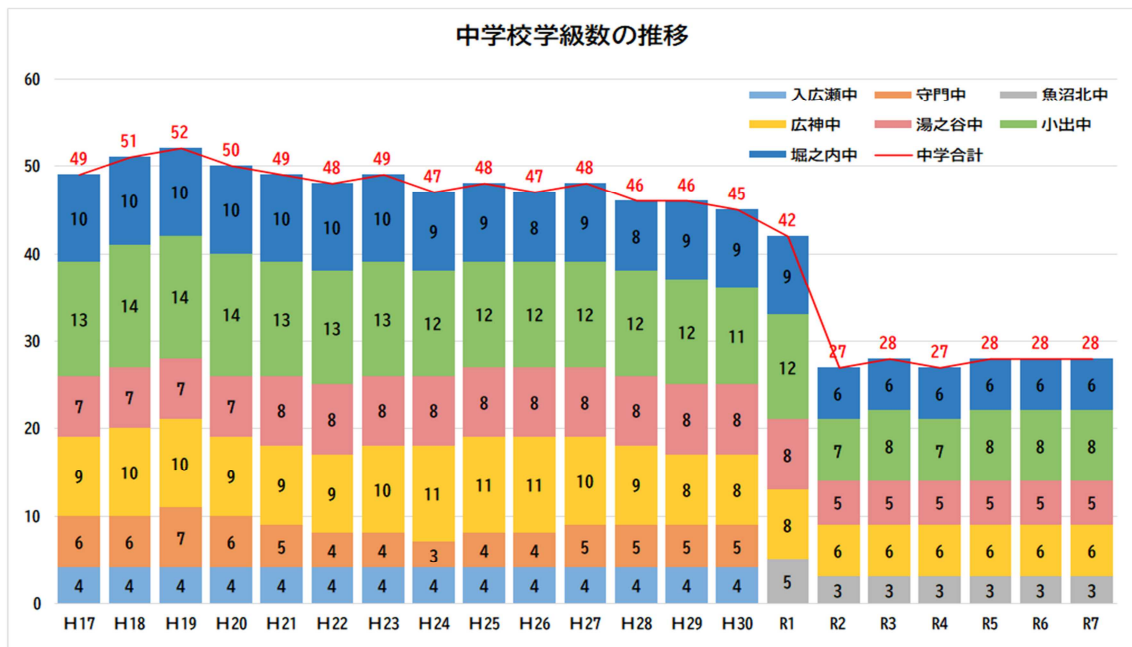
資料：魚沼市歳入歳出決算資料（財政事情と主要な施策の成果）

■中学校生徒数の推移（学校別）



資料：魚沼市歳入歳出決算資料（財政事情と主要な施策の成果）

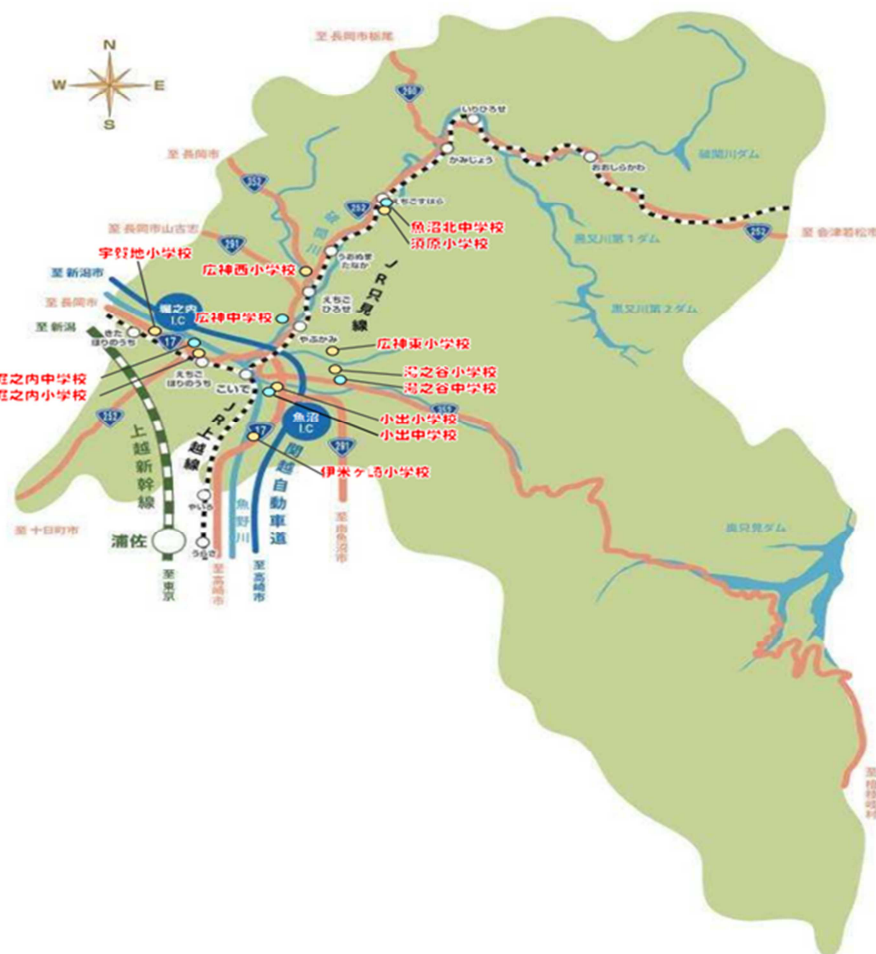
■中学校学級数の推移（学校別）



資料：魚沼市歳入歳出決算資料（財政事情と主要な施策の成果）

■通学区域と学校の位置

小学校	通学区域	中学校
堀之内小	堀之内、与五郎新田、大石、下倉、田戸、根小屋(通称和長島、三明塚及び徳田の区域を除く。)、吉水、原、明神、魚野地	堀之内中
宇賀地小	竜光、新道島、下新田、下島、田川、和長島、徳田、根小屋(通称和長島、三明塚及び徳田の区域に限る。)	
小出小	小出島、本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、稲荷町一丁目、諏訪町一丁目、浦町一丁目、柳原一丁目、横町一丁目、横町二丁目、日渡新田、大塚新田、四日町、中ノ島、青島、佐梨、古新田、中原、上原、干溝	小出中
伊米小	原虫野、板木、伊勢島、虫野、大浦、大浦新田、十日町、岡新田	湯之谷中
湯之谷小	井口新田、七日市、七日市新田、吉田、大沢、葎沢、湯之谷芋川、蓑和田、宇津野、下折立、折立又新田、上折立、大湯温泉	
広神東小	中島、中島新田、今泉、江口、江口新田、新保、新保新田、山田、米沢、一日市、中家、中家新田、中家今新田、池平、池平新田、中子沢、三ツ又	広神中
広神西小	金ヶ沢、田中、宮沢新田、栗山、親柄、横瀬、清本、長堀新田、下田、小平尾、東中、田尻、泉沢、山口、並柳、和田、連日、小庭名、小庭名新田、吉平、吉原、茂沢、水沢、大芋川	
須原小	赤土、三淵沢、大倉沢、福田新田、大倉、須川、須原、大原新田、細野、松川、福山新田、渋川、東野名、西名、宮椿新田、西名新田、長島、上長島新田、高倉、穴沢、大栃山、平野又、横根、田小屋、芋鞘、大白川	魚沼北中



<参考> 国が示す適正規模と適正配置の基準

(1) 適正規模の基準

○学校教育法施行規則 第41条

小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

※中学校については、同規則第79条において小学校の規定を準用するとされています。

○義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令 第4条

法*第3条第1項第4号の適正な規模の条件は、次に掲げるものとする。

(1) 学級数が、小学校及び中学校にあつてはおおむね12学級から18学級まで、義務教育学校にあつてはおおむね18学級から27学級までであること。

(2) 通学距離が、小学校にあつてはおおむね4キロメートル以内、中学校及び義務教育学校にあつてはおおむね6キロメートル以内であること。

*義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律

過小		小規模		標準	過大
1～5学級	6学級	7～8学級	9～11学級	12～18学級	19学級以上
複式学級が存在する。	クラス替えができない。	全学年ではクラス替えができない。	半数以上の学年でクラス替えができる。		

区分	通学距離基準	通学時間基準
小学校	おおむね4 km以内	おおむね1時間以内
中学校	おおむね6 km以内	//

(2) 令和7年度 新潟県の学級編成基準・教員配当基準

①小学校の学級編成と教員配当

- ・1学級の児童数は、原則として35人以下(1、2学年に限り32人以下も可)
- ・引き続き2学年の合計が16人以下(1年生を含む場合は8人以下)の場合、複式学級となる。
- ・特別支援学級の1学級の児童数は、8人以下

学級数	校長	教頭	教員	計	備考
5学級	1人	1人	5人	7人	学級担任のみ配当
6学級	1人	1人	6人	8人	学級担任のみ配当
7～18学級	1人	1人	8～19人	10～21人	学級担任+1人
19学級	1人	1人	21人	23人	学級担任+2人

※特別支援学級については、別途基準により配当される。

②中学校の学級編成と教員配当

- ・1学級の生徒数は、原則として40人以下
- ・引き続き2学年の合計が8人以下の場合は、複式学級となる。
- ・特別支援学級の1学級の生徒数は、8人以下

学級数	校長	教頭	教員	計	備考
3～6学級	1人	1人	6～9人	8～11人	学級担任+3人
7学級	1人	1人	11人	13人	学級担任+4人
8～9学級	1人	1人	13～14人	15～16人	学級担任+5人
10学級	1人	1人	16人	18人	学級担任+6人
11～12学級	1人	1人	18～19人	20～21人	学級担任+7人

※中学校は教科担任制のため、配当人数が少ない場合には、免許外指導の教科が発生する場合があります。

※特別支援学級については、別途基準により配当される。

2. 再編の基本方針

魚沼市小中学校の教育環境の在り方検討委員会からの答申を踏まえ、魚沼市立小中学校の再編に関しては、次に示す事項を基本的な方針とします。

(1) 再編の考え方

小中学校の再編にあたっては、児童生徒数、通学区域（距離）、既存校舎の規模及び改修時期を考慮して進める必要があります。

小学校では、適正規模の実現のほか、現在の学区を分割しないことと隣接した小学校同士での統合を原則とし、複式学級を解消し、集団での教育活動が充実できるよう順次統合を進め、令和 14 年度には市内 4 校を目指します。

中学校は、教育の質を確保するために、全ての教科で専門教科教員を配置できる規模とし、令和 19 年度には市内 1 校とします。

(2) 既存校舎の活用

校舎については、既存校舎を活用することで財政負担を軽減します。

また、統合後の空き校舎についても、近隣の公共施設との統合等含め地域の皆さんと検討します。

(3) 通学区域（距離）について

学校の位置については、通学距離の均衡を図り、一部の児童生徒に過度な負担が掛からないように配慮することが望ましいものの、全ての学校を均等に配置することは現実には難しいため、公共交通とスクールバスを併用した通学手段を検討します。

(4) 学校給食

給食については、現在、各学校の調理場とセンター方式での提供を行っています。

小中学校の再編にあたって、新たなセンター建設はせずに、統合後の学校に設置している調理場において学校給食を提供する予定です。

(5) 放課後児童センター

放課後児童クラブが設置されている学校と設置されていない学校があります。小学校の統合により、放課後児童クラブの設置場所や移動方法についても検討が必要です。

(6) 環境の変化への配慮

学校の再編により子どもたちの学習環境等が大きく変化するため、次の項目等について配慮が必要です。

- ・統合前からの交流事業の実施

- ・子どもたちの見守り強化のため教員の加配を県教育委員会へ依頼
- ・地域の文化・芸能の継承
- ・地域との関わりの場の維持
- ・制服や体操着の変更に伴う保護者の負担感の軽減

3. 小学校の再編

(1) 現状

平成 16 年度に 11 校あった小学校は、現在 8 校に再編されています。

- ・平成 21 年 4 月 上条小学校を須原小学校に統合
- ・平成 22 年 4 月 東湯之谷小学校を井口小学校に統合
- ・令和 5 年 4 月 入広瀬小学校を須原小学校に統合

表 1 小学校の現況

学校名	建築年	築年数	延床面積 (㎡) (体育館含 まない)	調理場	放課後児童クラブ (学童)		備考
					併設	外部施設	
須原小	S 58 (1983)	43 年	3,027	センター	-	北部庁舎	
広神西小	S 54 (1979)	47 年	4,152	単独	有		
広神東小	S 50 (1975)	51 年	3,826	単独	-	よつば児童館	
湯之谷小	H 27 (2015)	11 年	5,687	センター	有	湯之谷児童館	
小出小	S 51 (1976)	50 年	5,909	センター	有	小出児童センター	
伊米ヶ崎小	S 58 (1983)	43 年	3,159	(受配校)	有		
堀之内小	S 44 (1969)	57 年	3,848	単独	有		
宇賀地小	H 4 (1992)	34 年	2,509	単独	-	堀小(タクシー移動)	

(2) 再編の進め方

- ・小学校は 1 学年 2 学級が確保できる規模にすることと小学生の体力を考慮した通学距離を前提とします。
- ・現在の学区を分割せず、隣接した小学校同士で統合します。

①令和 11 年 4 月

堀之内小学校と宇賀地小学校を統合。統合後は堀之内小学校の校舎を利用します。

②令和 12 年 4 月

小出小学校と伊米ヶ崎小学校を統合。統合後は小出小学校の校舎を利用します。

- ☞井口新田の一部(上ノ原・清水上)については、通学距離を考慮して、指定校として湯之谷小学校又は小出小学校のどちらかを選択できる選択制の導入を検討します。

③令和 14 年 4 月

須原小学校、広神西小学校及び広神東小学校を統合。統合後は広神西小学校の校

舎を利用します。

④学校給食

統合に伴い、小出学校給食センターは単独調理場となります。須原小に併設している守門学校給食センターは、同時期に魚沼北中学校を広神中学校に統合することで、給食センターも廃止することができます。

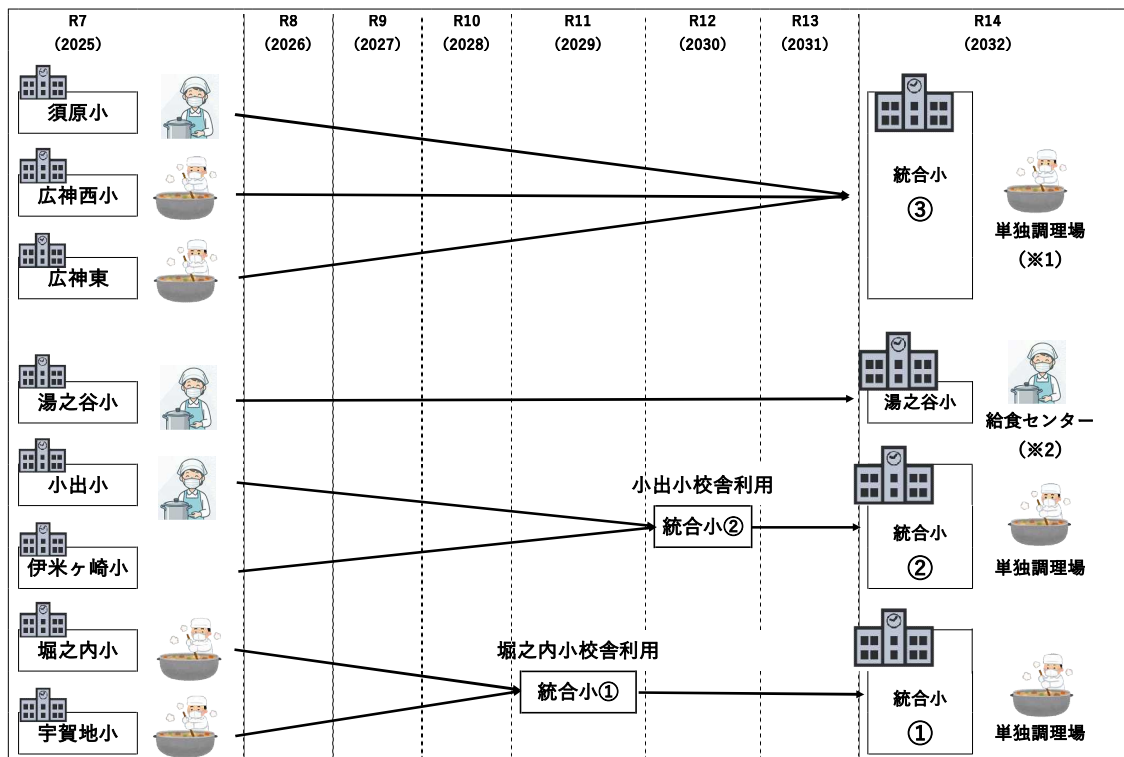
また、湯之谷小学校に併設している給食センターについては、中学校が統合するまでは湯之谷中学校への給食提供を継続しますが、中学校統合後は単独調理場とする予定です。

⑤放課後児童クラブ

小学校の統合に伴い、放課後児童クラブの設置や運営についても検討が必要です。

※統合の時期、順番については、地域との協議により前後する場合があります。

図1 小学校統合スケジュール（案）



※1 同時期に魚沼北中と広神中が統合し、広神中学校校舎を利用する場合

※2 令和14年度に湯之谷中学校が堀中・小出中と統合し、小出中学校校舎を利用する場合



<参考>再編による学校規模の変化（35人学級で試算）

児童数の見込みについて（R8.2.1時点データでの試算）

令和7年度

児童数

	須原小	広神西小	広神東小	湯之谷小	小出小	伊米ヶ崎小	堀之内小	宇賀地小	計
1年	12	11	24	38	58	10	30	16	199
2年	14	20	25	42	58	13	28	10	210
3年	12	24	27	36	66	11	34	10	220
4年	15	14	30	44	60	14	35	9	221
5年	21	17	25	41	73	13	41	5	236
6年	12	33	21	38	79	14	32	11	240
計	86	119	152	239	394	75	200	61	1326

学級数（35人学級）

	須原小	広神西小	広神東小	湯之谷小	小出小	伊米ヶ崎小	堀之内小	宇賀地小	計
1年	1	1	1	2	2	1	1	1	10
2年	1	1	1	2	2	1	1	1	10
3年	1	1	1	2	2	1	1	1	10
4年	1	1	1	2	2	1	1	1	10
5年	1	1	1	2	3	1	2		12
6年	1	1	1	2	3	1	1	1	10
計	6	6	6	12	14	6	7	6	62

再編

令和12年度見込

児童数

	須原小	広神西小	広神東小	湯之谷小	統合小②	統合小①	計
1年	5	8	28	24	55	25	145
2年	8	15	14	27	55	24	143
3年	6	11	24	32	64	33	170
4年	5	16	21	40	73	45	200
5年	8	18	18	29	69	46	188
6年	12	11	24	38	68	46	199
計	44	79	129	190	384	219	1045

学級数（35人学級）

	須原小	広神西小	広神東小	湯之谷小	統合小②	統合小①	計
1年	1	1	1	1	2	1	7
2年	1	1	1	1	2	1	7
3年	1	1	1	1	2	1	6
4年	1	1	1	2	3	2	10
5年	1	1	1	1	2	2	7
6年	1	1	1	2	2	2	9
計	4	6	6	8	13	9	46

再編

令和14年度見込

児童数

	統合小③	湯之谷小	統合小②	統合小①	計
1年	28	27	41	24	120
2年	24	24	36	21	105
3年	41	24	55	25	145
4年	37	27	55	24	143
5年	41	32	64	33	170
6年	42	40	73	45	200
計	213	174	324	172	883

学級数（35人学級）

	統合小③	湯之谷小	統合小②	統合小①	計
1年	1	1	2	1	5
2年	1	1	2	1	5
3年	2	1	2	1	6
4年	2	1	2	1	6
5年	2	1	2	1	6
6年	2	2	3	2	9
計	10	7	13	7	37

4. 中学校の再編

(1) 現状

平成 16 年度に 6 校あった中学校は、現在 5 校に再編されています。

- ・平成 31 年 4 月 入広瀬中学校と守門中学校を統合し魚沼北中学校を創立

表 2 中学校の現況

学校名	建築年	築年数	延床面 (㎡) 体育館含まない	調理場	備考
魚沼北中	S53 (1978)	48 年	3,722	(受配校)	給食：須原小から配送
広神中	S47 (1972)	54 年	4,401	単独	
湯之谷中	S43 (1968)	58 年	2,842	(受配校)	給食：湯小から配送
小出中	S50 (1975)	51 年	5,515	単独	
堀之内中	S48 (1973)	53 年	4,613	単独	

(2) 再編の進め方

①統合後の校舎

統合後の校舎については、次の理由から小出中学校の校舎を利用します。

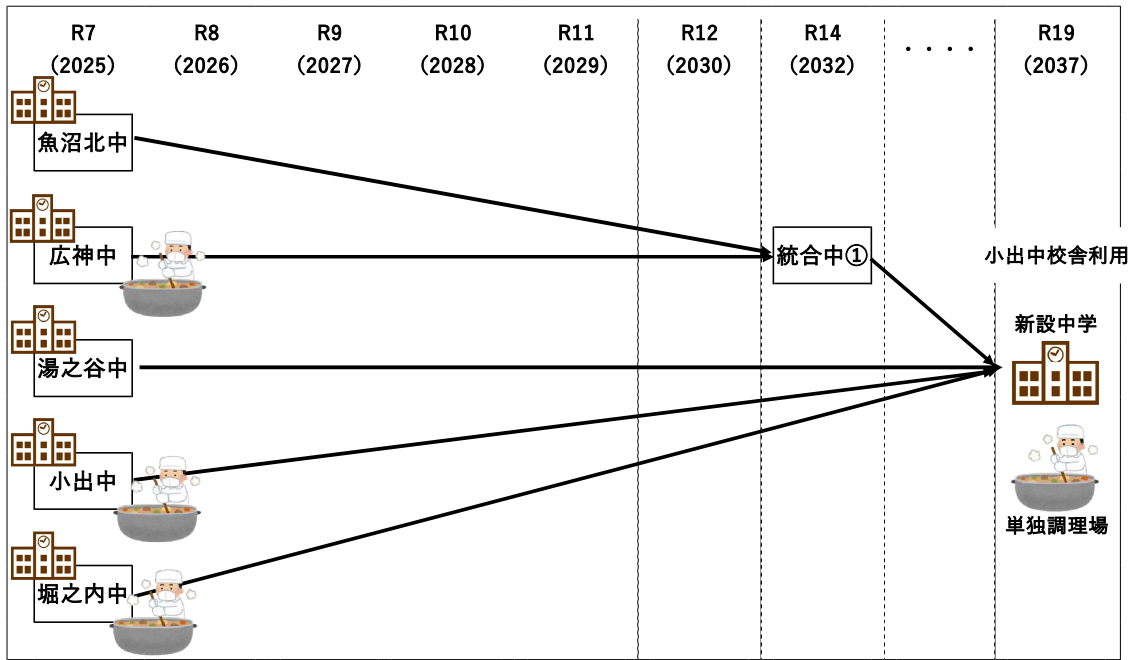
- ・施設 比較的広く、教室の数も多いことから、統合後の学級数に対応できます。
*令和 19(2037)年度の見込み生徒数は 393 人で、1 学級 35 人編成となった場合でも、受入が可能です。
- ・規模 市内で最も生徒数が多い小出地区の生徒 (R19 予測で 146 人) が移動せずに済み、全体の移動コストを抑えることができます。
- ・立地 国道 17 号、252 号の結節点に位置しており、各方面からのスクールバスの効率的な運行が可能です。

②統合パターン

統合については、次の 3 つのパターンを基に地域と話し合いを進めます。

*パターン A 5 校⇒4 校⇒1 校

- ・令和 14 年 4 月
魚沼北中学校と広神中学校を統合。校舎は広神中学校校舎を利用します。
⇒通学手段 (スクールバス運行) と給食提供 (守門地区学校給食センター) を考え、須原小、広神西小、広神東小の統合と時期をあわせます。
- ・令和 19 年 4 月
統合中学校を新設。統合後は小出中学校の校舎を利用します。



*パターンB 5校⇒2校⇒1校

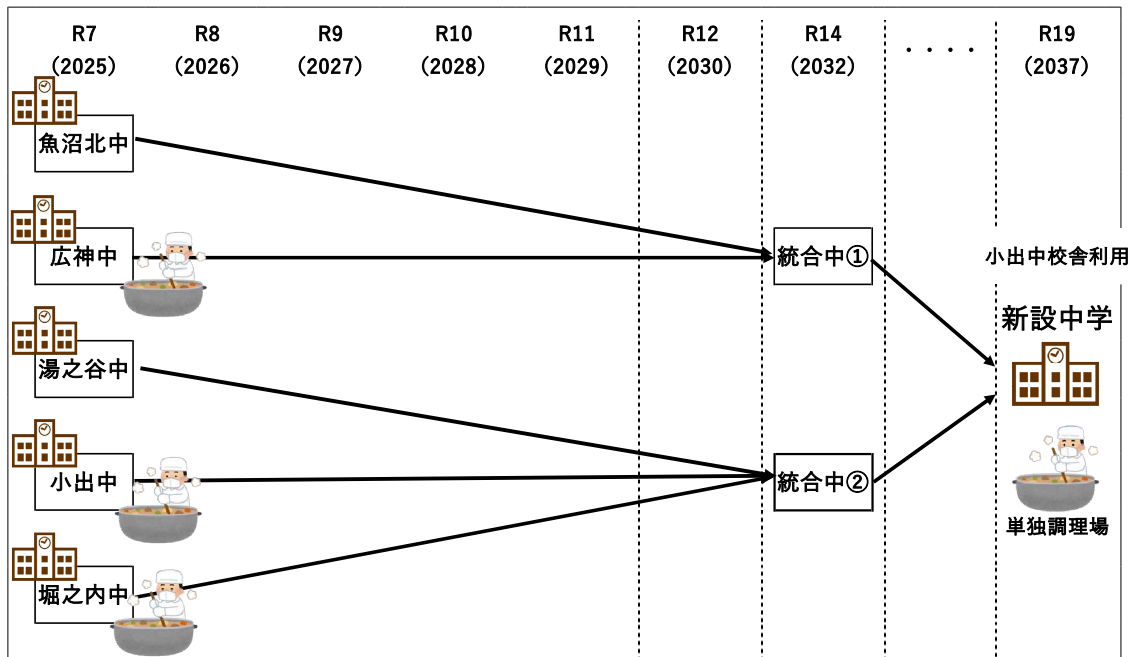
・令和14年4月

魚沼北中学校を広神中学校に統合（校舎は広神中学校校舎利用）。

堀之内中学校、湯之谷中学校、小出中学校を統合。統合後は小出中学校の校舎を利用します。

・令和19年4月

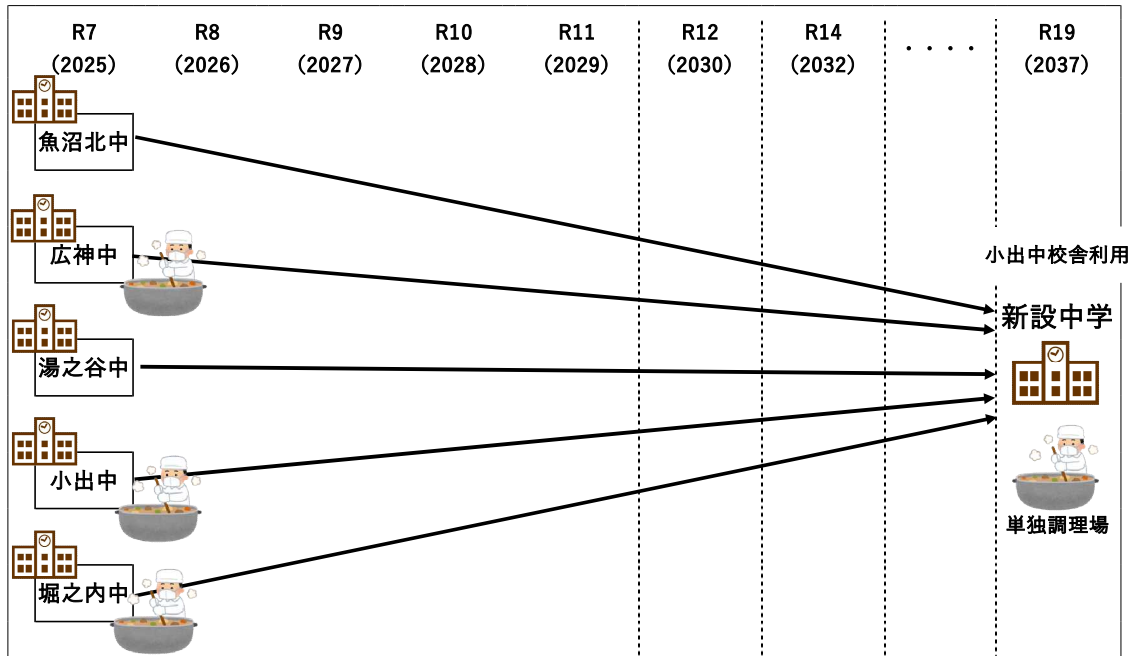
2校を統合し、統合中学校を新設します。校舎は小出中学校を利用します。



*パターンC 5校⇒1校

・令和19年4月

5校を統合する。校舎は小出中学校を利用。



<参考>再編による学校規模の変化

生徒数の見込みについて (R8.2.1時点データでの試算)

令和7年度

生徒数

	魚沼北中	広神中	湯之谷中	小出中	堀之内中	計
1年	10	53	36	72	42	213
2年	14	41	45	80	44	224
3年	18	52	41	88	56	255
計	42	146	122	240	142	692

学級数 (40人学級)

	魚沼北中	広神中	湯之谷中	小出中	堀之内中	計
1年	1	2	1	2	2	8
2年	1	2	2	2	2	9
3年	1	2	2	3	2	10
計	3	6	5	7	6	27

再編

令和14年度見込み (パターンA)

生徒数

	統 合 中 ①	湯 之 谷 中	小 出 中	堀 之 内 中	計
1年	44	29	69	46	188
2年	47	38	69	46	200
3年	60	42	70	38	210
計	151	109	208	130	598

学級数 (35人学級)

	統 合 中 ①	湯 之 谷 中	小 出 中	堀 之 内 中	計
1年	2	1	2	2	7
2年	2	2	2	2	8
3年	2	2	2	2	8
計	6	5	6	6	23

令和14年度見込み (パターンB)

生徒数

	統 合 中 ①	統 合 中 ②	計
1年	44	144	188
2年	47	153	200
3年	60	150	210
計	151	447	598

学級数 (35人学級)

	統 合 中 ①	統 合 中 ②	計
1年	2	5	7
2年	2	5	7
3年	2	5	7
計	6	15	21

再編

令和19年度見込み

生徒数

	新設中
1年	105
2年	145
3年	143
計	393

学級数 (35人学級)

	新設中
1年	3
2年	5
3年	5
計	13